

立教大学アジア地域研究所 第4回公開講演会

メコン河集水域における魚類保全区とコモンス - ラオス南部の事例から

日時：2012年1月21日（土）13時30分～15時30分

場所：立教大学 池袋キャンパス 11号館3階 A 301教室

講師：秋道 智彌（人間文化研究機構 総合地球環境学研究所 教授）

生態人類学・民族生物学を専門とする。京都市生まれ。東京大学大学院理学研究科人類学専攻博士課程修了。理学博士。国立民族学博物館を経て、2002年より総合地球環境学研究所教授、副所長、研究推進戦略センター長を歴任。現在、同研究推進戦略センター教授・ネットワーク拠点形成オーガナイザー。主な著書・編著に『コモンスの人類学』、『海洋民族学』、『モンスーンアジアの生態史第3巻くらしと身体の生態史』、『図録メコンの世界－歴史と生態』など。



東南アジアを貫くメコン河は、さまざまな水産生物を育み、流域住民の生業の場となり、漁業資源を提供してきた。また、国際河川として開発と保全がなされてきた。その歴史を「生態史」として自然と人間の共存ならびに相克の様相を明らかにする。

申込・参加費 不要

お問合せ：立教大学アジア地域研究所

電話：03-3985-2581（月・火・木 10：00～17：00） e-mail：ajiken@rikkyo.ac.jp